



豊かな体験から 広がる学び

教育長 服部裕美子

新緑の美しい季節を迎えています。年度初めの緊張も和らぎ、至る所に、活気ある子どもたちの声が響き始めました。

小学校では、1年生が「学校たんけん」をして、校内や運動場を回り、目を輝かせている頃でしょうか。学校中を見て回る「学校たんけん」の活動は、どの学校の1年生も大好きな学習です。

理科室の人体模型や給食室の大きな釜、保健室のベッドなど、初めて見る物や不思議な物などに、興味津々です。上級生の授業をのぞいたり、最上階の窓から運動場や周辺の様子を眺めたりと、しばらくは探検が続きます。

子どもたちの姿を見ていますと、「おもしろい!」「ふしぎ!」と心を動かすことは、知ること以上に重要なのだと気付かされます。体験から得た発見や感動、疑問や興味があれば、やがては知識と結びつき、本当の学力となるのではないのでしょうか。

子どもたちと遠足で香貫山に登り、沼津のまちを見下ろした時のことを思い出します。ゆったりと狩野川が駿河湾へと流れ、千本松原、東西に続く鉄道、建ち並ぶ建物……。あちらこちらで子どもたちの弾んだ声が続きます。「電車、どこまで行くのかな」「川と海がつながってる」「家はどっちかな?」「市役所は……」。これまで見ていた別々の風景がつながり広がっていることを子どもたちは、感じていると、子どもたちに教えられました。自分たちの住んでいるまちを高い所から眺めることは、とても楽しく魅力的なことです。

子どもたちは、これから小学校、中学校、高校……と進む中で、様々な学習や活動を通して、世界を広げていくことでしょう。時には、不安や焦りを感じることもあるかもしれませんが。そんなときこそ、自然の中に身をおいて少し離れたところから眺めてみる時間を持ちたいものです。

自然や社会につながる豊かな体験の中で感性を大事に高めながら、楽しく学んでいく土台を自分自身の中に育ててほしいと願っています。

最後になりましたが、お忙しい中で、青少年の健全育成に関わってくださる皆様に心より感謝申し上げます。今後ともご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



青少年教育センターの方針・活動



1 方針

青少年の健全育成を図るため、家庭をはじめ地域・学校・警察他関係機関と連携し、補導・教育相談・研修を行います。

2 活動内容

(1) 補導

① 補導活動

中央補導と地区補導の活動の充実を図るとともに、夏まつり・県内一斉等の特別補導を行い、青少年の非行・被害防止に努めます。

② 環境浄化活動

高校生参加による落書き消しを行い、意識啓発を強化するとともに、「青少年を取り巻く社会環境の実態調査」を行い、地域ぐるみの有害環境浄化活動を推進します。

③ 広報・啓発活動

青少年教育センター「たより」と年報「ねんりん」を編集・発行するとともに、「青少年の非行・被害防止街頭キャンペーン」を実施します。

(2) 教育相談

① 面接相談

不登校・発達などに関する相談全般について、面接による相談に応じます。

② 電話相談（やまびこ電話）

青少年に関する相談全般について、電話による相談に応じます。

③ 体験活動「はばたき」

青少年教育センターに通所する不登校児童生徒のための体験活動を実施します。

④ 相談指導学級

青少年教育センターに通所する不登校児童生徒の内、沼津市教育委員会が認めた児童生徒が通級します。

⑤ 青少年健全育成地域相談員

各地域にいる相談員が、地域の青少年健全育成活動への援助と相談を行います。

(3) 研修

教職員研修センターが主催する「若手教員研修」における相談指導学級での体験研修を実施します。

面接相談



- ◎非行・不登校・発達・子育て・進路・対人関係など
青少年に関する面接相談。
- ◎相談および申し込み受付時間：
午前9時～午後5時 月～金曜日（祝祭日を除く）
- ◎相談申し込み：TEL 951-3440

平成30年1・2・3月の状況

1・2・3月には新たに申し込みがあった14件（1月8件、2月1件、3月5件）を含め、108件（1月39件、2月34件、3月35件）の相談に応じました。

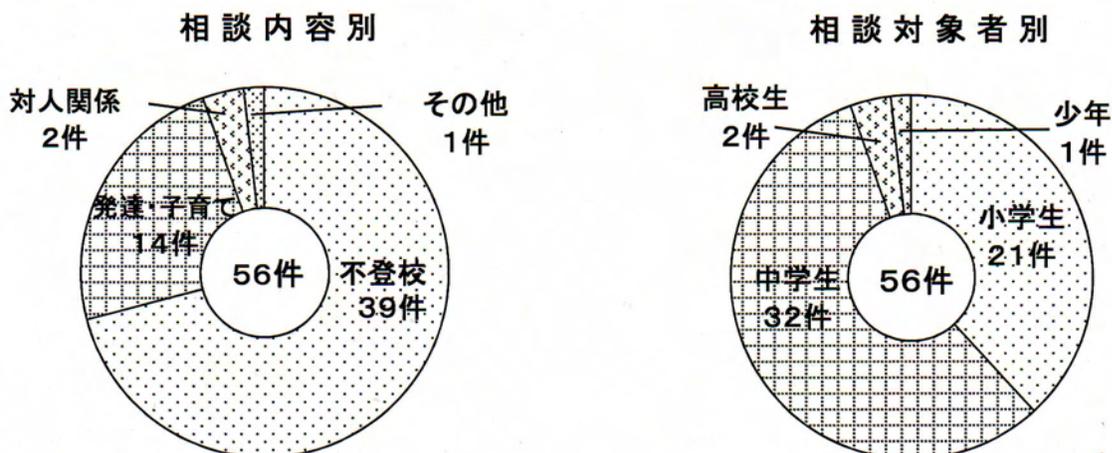
1 相談内容別新規相談件数

	非行	不登校	発達・子育て	進路・適性	対人関係	その他	合計
1月	0	7	1	0	0	0	8
2月	0	1	0	0	0	0	1
3月	0	3	1	0	1	0	5

2 相談対象者別新規相談件数

	幼児	小学生	中学生	高校生	少年	一般成人	合計
1月	0	3	5	0	0	0	8
2月	0	1	0	0	0	0	1
3月	0	1	4	0	0	0	5

3 今年度の新規相談受付状況 受付件数 56件（前年同期 52件）



4 1・2・3月の相談件数（新規及び継続）

	性別	非行	不登校	発達子育	進路・適性	対人関係	その他	計
幼児	男							0
	女							0
小学生	男		16	4				20
	女		6	8				14
中学生	男		34	3				37
	女		33	3		1		37
高校生	男							0
	女							0
少年	男							0
	女							0
一般成人	男							0
	女							0
計	男	0	50	7	0	0	0	57
	女	0	39	11	0	1	0	51
男女合計		0	89	18	0	1	0	108

5 1・2・3月の相談回数

（108件の相談延べ回数）

	面接	訪問	計
男	175	2	177
女	159	1	160
計	334	3	337

6 相談指導学級の様子

昨年度の相談指導学級の開級期間は平成29年4月7日から平成30年3月20日まででした。通級者は5人で、内訳は中学2年生が4人、中学3年生が1人でした。相談指導学級は、小集団による集団訓練を行うことにより人との関わり方を学ぶ場です。初めのうちは友達との接し方に慣れず、戸惑っていた生徒も次第に打ち解けていきます。



「僕は学校では一言も口をききません」と言っていた生徒も相談指導学級の仲間とは楽しく会話することができる

ようになりました。「学校で友達がいなかったのが、相談指導学級でみんなと関わることが嬉しかったです」、「みんなと一緒に楽しく過ごし、あっという間に時間が過ぎました」、「私は少しはみんなと会話できるようになりました」などと1年間を振り返りました。

通級生のほとんどが部分的に学校復帰をしたり、卒業式、修了式にも出席できたりしました。これが自信となり、3年生になったら始業式から登校したいと強い決意をのぞかせた生徒もいました。

2学期から通級を始めた3年生が1人いましたが、その生徒も希望する高校に合格し、晴れて高校生になることができました。学校復帰をした生徒も相談指導学級での経験やここで蓄えたエネルギーをもとに、これからの生活を切り拓いていくことと思います。みなさんの今後の活躍や成長が楽しみです。

本年度も保護者の皆様や学校の先生方などと連携し、通級する児童生徒の学校復帰を支援していきたいと思っております。

電話相談



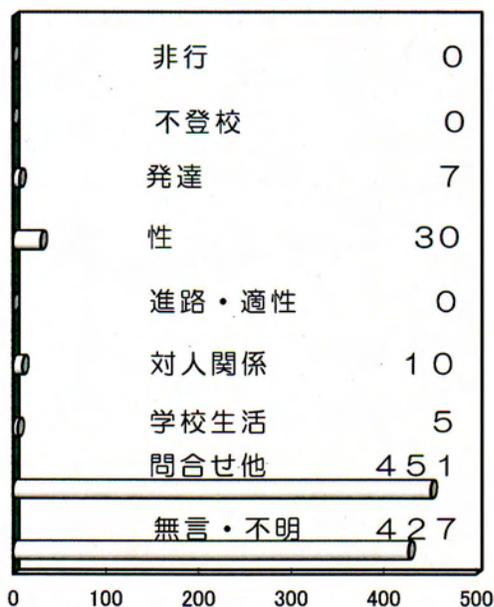
◎非行・不登校・発達・進路・対人関係など
青少年に関する相談。
◎相談時間：午前10時～午後7時
月～金曜日（祝祭日を除く）
◎愛称：やまびこ電話 951-7330

平成30年1・2・3月の状況

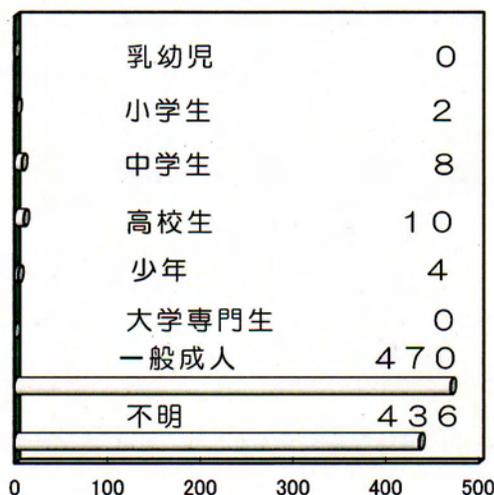
1月には241件、2月には326件、3月には363件の相談が寄せられました。
（前年1月：223件、前年2月：356件、前年3月：422件）

1 1・2・3月の相談状況

相談内容別件数



相談対象者別件数



2 平成29年度の電話相談受信件数状況

総件数 4,514件（前年同期 3,577件）

(1) 相談内容別

内容	非行	不登校	発達	性	進路・適性	対人関係	学校生活	問合せ他	無言
件数	0	1	46	97	4	25	17	2,271	2,053

(2) 相談対象者別

内容	乳幼児	小学生	中学生	高校生	少年	大学専門生	一般成人	不明
件数	0	16	37	46	12	2	2,330	2,071

◎◎補導の目◎◎



補導に参加して感じたこと

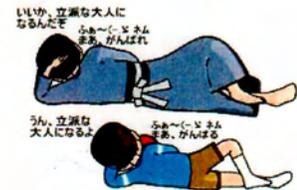
大岡地区母親補導委員 加藤和美

地域での夜間の補導活動に参加して感じたことがあります。

私の住んでいる地域では自治会の役員の方たちと一緒に補導に廻ります。私ははじめ「補導」というので、子どもたちを対象に区内を巡回するものだと思っていました。しかし、実際に巡回してみるとそれだけではなく、「街灯が切れているところはないか」、「街灯がなく暗くて危ないところはないか」、「ゴミステーションなどにゴミが不法投棄されていないか」など、防犯面でのチェックも行っていました。そのようなことが行われていたとはまったく知りませんでした。いつも何気なく通っていましたが、夜間でも安全に安心して通行できるようにしてくれていたとわかり、頭が下がる思いでした。地域での補導活動を通じて、地域の住民は地域の住民によって守られているんだと感じました。

また、夜間では自転車の無灯火での走行をよく見かけました。声を掛けてみると大人でした。歩きスマホをしている大人も見かけました。子どもたちは大人の言動をよく見ています。「親の背を見て子は育つ」ということわざもあります。まずは私たち大人がルールやマナーをきちんと守り、きれいな言葉を遣い、子どもたちが憧れるような大人になることが必要だと思います。

私も大人のひとりとして、子どもたちのお手本になれるようにこれからの日々を過ごしていきたいと思います。



1 少年補導委員の延べ参加人数（1・2・3月）

	市職員	教員	女性補導委員	母親補導委員	地区代表補導委員	警察	地区補導委員	総数
1月	9	10	11	5	9	1	285	330
2月	10	19	13	3	13	1	262	321
3月	5	3	6	3	10	0	265	292

2 補導回数・補導状況（1・2・3月）

	補導回数				注意・指導 愛の声かけ	事後指導	
	午前	午後	夜間	計		学校・親等へ連絡	他機関へ連絡
1月	6	10	34	50	303	0	0
2月	5	9	35	49	231	0	0
3月	2	6	37	45	165	0	0

3 補導活動（平成29年度の累計）

補導回数	延べ参加補導委員数	注意・指導 愛の声かけ	事後指導	
			学校・親等へ連絡	他機関へ連絡
535	3,816	3,356	0	0

4 1・2・3月の街頭補導少年の学識別状況（中央・地区別補導）

補導委員の皆様、青少年の非行・被害防止に努めてくださりありがとうございます。本年度は、「自転車の無灯火」及び「危険な遊び（危険な玩具・花火等）」の件数は増加してしまいましたが、他の行為に対する注意・指導は大幅に減少しました。これは積極的で温かい「愛の声かけ運動」によるところが大きいといえそうです。



区分		学識別	性別	小学生	中学生	高校生	その他学生	有職少年	無職少年	計	一年間累計	
行 為 種 別	飲 酒	男								0	0	
		女								0	0	
	喫 煙	男									0	1
		女									0	0
	薬 物 乱 用	男									0	0
		女									0	0
	夜 間 は い か い	男									0	17
		女									0	9
	不 良 交 友	男				1					1	1
		女				1					1	1
	怠 学 ・ 怠 業	男									0	0
		女									0	0
	ゲームセンター入場	男		1	33	47					81	328
		女		3	2	31					36	147
	パチンコ店入場	男									0	0
女										0	0	
カラオケ店入場	男									0	0	
	女									0	0	
自転車の暴走行為	男		1		3					4	4	
	女									0	0	
自転車の二人乗り	男			2						2	8	
	女				2					2	3	
自転車の無灯火	男			1	12			1		14	44	
	女		1		1					2	8	
危 険 な 遊 び	男									0	10	
	女									0	8	
そ の 他	男		5							5	37	
	女				1					1	38	
計		男	7	36	63	0	1	0		107	450	
		女	4	2	36	0	0	0		42	214	
男 女 合 計			11	38	99	0	1	0		149	664	
事 後 指 導	家庭・学校・職場へ連絡	男								0	0	
		女								0	0	
	他 機 関 へ 連 絡	男									0	0
		女									0	0
男 女 合 計			0	0	0	0	0	0	0	0		
愛 の 声 かけ 運 動	男		147	43	112				1	303	1,488	
	女		113	41	93					247	1,204	
男 女 合 計			260	84	205	0	0	1	550	2,692		

「眠り」について考える Part X

= 寝付きが悪いと思っている人へ =

「羊が一匹」「羊が二匹」と数えていませんか

「羊数え」は、イギリスが発祥の地です。「one sheep」「two sheep」「three sheep」と数えます。なかなか眠りつけなかった人が、自分に向かって「sleep」「sleep」（「眠れ」「眠れ」）と暗示をかけていたのが始まりという説です。

「sleep」と「sheep」は音（おん）がよく似ています。「sleep」「sleep」とつぶやいていたはずが、眠くなってきて、口がうまく回らず、いつの間にか「sheep」「sheep」となっていたことから「羊（sheep）数え」が始まったと伝えられています。この説は、「sleep」を「sheep」と言い間違えたわけですが、英語では音の似ている「sheep」が「sleep」（眠れ）の暗示につながったといわれています。その意味では、日本語で「羊が一匹」「羊が二匹」と数えていても、「眠れ」と「羊」とは、音が似ていないため、「眠れ」の暗示には結びつきません。したがって、「sleep」「sleep」（「眠れ」「眠れ」）と暗示をかけていた訳ですから、日本人には「眠れ」「眠れ」の方が効果があるのではないかと思います。

また、羊飼いが、自分の羊を数えていると眠くなってしまふことから「羊を数えると眠くなる」といわれ出したという説もあります。これは、単純作業を繰り返していると脳にアルファ波が発生することに由来します。安静時の脳波はアルファ波の占める割合が他の周波数の占める割合と比べて高くなっています。「羊を数える」ことにより、脳が安静時と同様の状態になったといえます。退屈することで眠くなるということからすれば、「one sheep」「two sheep」でなく、「羊が一匹」「羊が二匹」でも構わない訳です。

よって、自分なりにリラックスできる状態を作り出すことが大切ではないでしょうか。

センターの活動予定 (5・6・7月の主な活動)

※天候による変更あり

相談指導学級体験活動		はばたき活動	
5月10日(木)	農園体験	5月9日(水)	「いっしょに遊ぼう」
17日(木)	農園体験	30日(水)	消防署見学
24日(木)	ハイキング	6月6日(水)	びゅうお見学
31日(木)	調理体験	20日(水)	海釣り
6月7日(木)	ハイキング	7月11日(水)	柿田川湧水群見学
中旬	高校見学	23日(月)	らららサンビーチ海水浴
28日(木)	調理体験	24日(火)	はばたき教室開放
7月5日(木)	ハイキング	~26日(木)	
12日(木)	農園体験	補導関係	
19日(木)	調理体験	5月21日(月)	補導委員会代表者会①
		30(水) 31(木) 6/1(金)	新任補導委員研修会
		6月22日(金)	補導委員会感謝状贈呈式
		7月2日(月)	非行・被害防止キャンペーン
		9日(月)	県内一斉夏季補導
		13日(金)	補導委員会体表者会②
		28(土) 29(日)	夏まつり特別補導



明るい子どもが育つまち

青少年健全育成
シンボルマーク



青少年健全育成都市宣言 (昭和55年)

あいさつで ひろがる愛の輪 地域の輪

青少年を優しく温かい心で包み込むという思いから、右側は笑顔、左側は手のひら、全体はハート（心）を表しています。